

道路アセットマネジメントプラットフォーム  
第8回国内支援委員会

# 新成熟度指標導入の背景

# 従来の成熟度指標の課題

- ・成熟度を算出するための測定指標が230近くあり、算出に非常に手間がかかる指標であった。そのため、JICAが備上したコンサルタントにより、年に2-3か国程度しか算出できていなかった。
- ・そのため、経年変化比較であったり(改善傾向にあるかの確認)、国間の比較が限られた範囲でしか行えなかった。
- ・道路アセットマネジメント分野の協力ニーズは多くの国より寄せられるため、より効率的な実施を目指して、事業単位の広域化、地域拠点を設置するといった戦略を作成したいが、その基盤としての各国の成熟度指標データが、上記理由より十分に集められていない。
- ・例年、道路アセットマネジメント、道路維持管理等の研修に多くの研修員が参加しているため、それら研修員に回答頂く形で

# 新成熟度指標の活用方法

- 2025年度においては、課題別研修4コース（道路アセットマネジメント、橋梁アセットマネジメント、道路維持管理、橋梁維持管理）の4コースの課題別研修員を対象に回答依頼する。この4コースで、54か国のデータが集まる見通し。
- 加えて可能な範囲で2025年度中に来日予定の長期研修員にも回答依頼をする。

## 参考：25年度の課題別研修割当

研修コース名	25年度参加国名
道路アセットマネジメント	カンボジア、ラオス、東ティモール、ベトナム、ミクロネシア、PNG、バヌアツ、ニカラグア、トルコ、エジプト、エチオピア、ガーナ、ナイジェリア、ウガンダ、コートジボワール、ジブチ、モザンビーク、ルワンダ、イエメン、トンガ、エジプト
橋梁アセットマネジメント	バングラデシュ、カンボジア、コンゴ民、フィジー、ラオス、ニカラグア、フィリピン、東ティモール、トーゴ、ウガンダ、ザンビア、パラオ、モロッコ
道路維持管理	<p>(A)アルメニア、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン</p> <p>(B)ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コンゴ共和国、コートジボワール、ジブチ、ギニア、トーゴ、コンゴ民主共和国</p> <p>(C)トンガ、モルディブ、フィジー、ミクロネシア、サモア、アンティグア・バーブーダ</p> <p>(D)ジンバブエ、ホンジュラス、ザンビア、イエメン</p>
橋梁維持管理(技術者向け)	フィリピン、ラオス、ベトナム、PNG、エルサルバドル、エジプト、エチオピア、ザンビア、ジブチ、モザンビーク、タジキスタン、ブータン